

第**59**期

年次報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

旅でもっとつながる世界へ。
好奇心でもっと感じる世界へ。



株主の皆さまへ

当期（第59期）の業績

株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第59期の事業活動をご報告申し上げます。

当社グループは、前連結会計年度末に事業買収した海外旅行者向けレストラン予約サービス「グルヤク」に加え、7月に開始した現地発着ツアー予約・販売サービス「MAPPLE Activity（マップル アクティビティ）」、及び新たに11月に開始した女性向け旅ナカ予約サービス「TAYLOR（テイラー）」を拡大すべく、ハワイ、グアム及びシンガポールそれぞれに現地法人の子会社を設立し、3月には、「MAPPLE Activity」の取り扱いエリアを世界27エリア53都市へと拡大してまいりました。

当期は、電子売上はナビゲーション売上の減少や昨年に失注した大型案件の影響もあり、大幅に減少いたしました。市販出版物におきましても、返品抑制のための市場在庫管理を徹底したことにより返品額が減少したものの、前連結会計年度にあったガイドブックシリーズの改訂が無かったことにより、売上高は減少いたしました。

この結果、当社グループの売上高合計は、前連結会計年度に比べ11億56百万円（11.2%）減少し、91億58百万円となりました。

利益面では、事業構造改革による効率化や人員削減による人件費削減効果、賞与引当金繰入額の減少等により、製造原価、販売費及び一般管理費共に減少いたしました。

これによりまして、営業損失は10億60百万円（前連結会計年度は営業損失22億76百万円）、経常損失は10億18百万円（前連結会計年度は経常損失22億6百万円）となりました。また、特別損失として持分変動損失1億17百万円、解約違約金2億32百万円、減損損失3億44百万円を計上いたしました結果、親会社株主に帰属する当期純損失は17億68百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失34億23百万円）となりました。



代表取締役社長

黒田 茂夫



当期の配当

当期の剰余金の配当は、前期同様普通配当を1株につき20円とさせていただきます。なお、配当金は「その他資本剰余金」を配当原資とさせていただきます。

次期（第60期）の見通し

次期の主な取り組みとしては、事前の情報収集など準備的段階の「旅マエ」行動において、出版事業では旅に出る読者のニーズに合った話題性のある新製品の出版を継続して行うと同時に、引き続き徹底した市場在庫管理による返品削減を実現してまいります。また、「ことりっぴWEB」、「Fish & Tips」等の電子媒体を通じた情報提供をさらに強化してまいります。「旅ナカ」（旅行中）行動においては、「グルヤク」、「MAPPLE Activity」、「TAYLOR」といったWEBサービスを通じて、旅先でのグルメや現地ツアーの情報提供、予約ニーズ等に対応してまいります。そして、「旅アト」（旅行後）行動において、当社の「旅マエ」、「旅ナカ」で提供する情報やサービスが旅行客の“幸せの記憶となる体験”の一助となるよう向上させていくことで、次の旅行機会においても当社の情報やサービスをご利用いただける好循環を生み出していきたいと考えております。

このような状況のもと、売上高は99億10百万円（当連結会計年度比8.2%増加）、経常利益1億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益90百万円を見込んでおります。

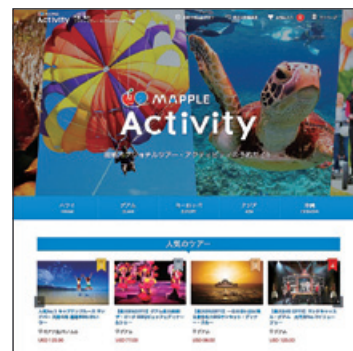
株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



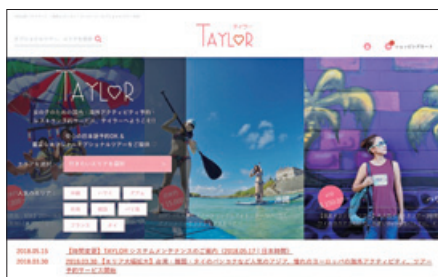
旅ナカ予約サービス開始

旅ナカ（現地）でより旅を楽しむための海外向け現地オプションツアー予約・販売代行サービス「MAPPLE Activity」を2017年7月から開始しました。すべて日本語のご案内で、予約・決済・Eバウチャー発行までオンライン上で対応しております。

グアム・ハワイにはサービス利用者向け現地ツアーデスクを開設。またハワイ・グアム・沖縄に加え、アジア8エリア22都市とヨーロッパ16エリア28都市を追加。日本人海外旅行者の上位目的地の約8割をカバーし、人気の海外旅行先に幅広く対応できるようになりました。



2018年11月には主に女性を対象とした、海外でのオプションツアー予約サービスサイト「TAYLOR」を開始いたしました。体験オプションツアー（体験アクティビティ）はもちろん、スパやエステなど女性に嬉しいプランを取り揃えています。「インスタ映えスポットツアー」や「海外ティーンのパartyのような女子会」など旅行をハッピーにしたい今どきの女の子の、「本当にやりたい旅行体験」を実現させることをコンセプトにしています。



また、当社が運用する国内No.1*海外レストラン予約代行サービス「グルヤク」の累計利用者数（2012年6月のサービス開始時以降）は2017年12月時点で20万人を突破いたしました。
※世界60都市の海外レストラン予約代行サービスとして実績数「国内No.1」2017年当社調べ



はじめてに出会える カラフルな旅style『COLOR+』創刊

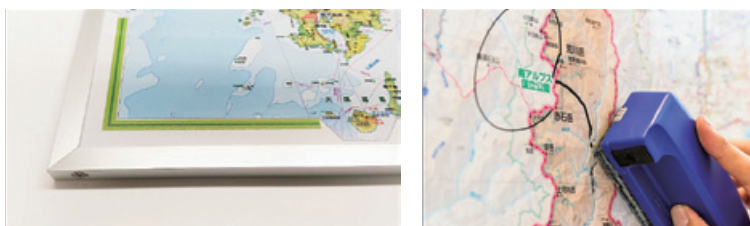
InstagramなどSNS上の写真から旅行先を決めるアクティブで、より感動や付加価値を求めて旅する20~30代の女性に向けて、思わずシェアしたくなる非日常体験や、HAPPYになれる旅スタイルを集めた新しいガイドブックシリーズ「COLOR+（カラープラス）」を創刊いたしました。

人気の定番観光地は、写真の色や角度にもこだわったフォトジェニックな写真と共にご紹介しつつ、SNSで話題となっているスポットや、これから話題になりそうなスポットも徹底取材しました。

オンデマンド方式の「マップル地図プリント」サービス開始

分県地図や都市地図、世界地図など当社の持つ400点以上の多彩な大判地図ラインアップについて、Web上でいつでも折り目のない地図を注文できるオンデマンド印刷サービス「マップル地図プリント」を開始しました。

ラミネートやパネル、マグネットセットなど好きな加工が選べ、出版物より大きな用紙サイズ（A0判、B0判）に拡大することも可能です。



連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第58期	第59期
	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在
資産の部		
流動資産	14,528	12,378
固定資産	10,022	9,810
有形固定資産	6,533	6,397
無形固定資産	9	—
投資その他の資産	3,479	3,413
資産合計	24,550	22,188
負債の部		
流動負債	4,113	3,708
固定負債	840	866
負債合計	4,954	4,575
純資産の部		
株主資本	18,960	16,828
資本金	10,141	10,141
資本剰余金	10,945	10,581
利益剰余金	△ 2,126	△ 3,894
自己株式	—	△ 0
その他の包括利益累計額	608	758
新株予約権	27	26
純資産合計	19,596	17,612
負債純資産合計	24,550	22,188

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第58期	第59期
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
売上高	10,314	9,158
売上原価	8,405	7,093
返品調整引当金繰入差額	△ 223	△ 67
売上総利益	2,132	2,133
販売費及び一般管理費	4,409	3,193
営業損失(△)	△ 2,276	△ 1,060
営業外収益	105	112
営業外費用	35	69
経常損失(△)	△ 2,206	△ 1,018
特別利益	0	2
特別損失	1,221	713
税金等調整前当期純損失(△)	△ 3,427	△ 1,728
法人税等合計	△ 3	39
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 3,423	△ 1,768

連結損益計算書のポイント

電子売上では簡易型カーナビゲーション用アプリケーションソフト『マップルナビ』について、無料ナビアプリの影響や前期に失注した大型案件の影響もあり、売上は減少しました。市販出版物においても前期にあったガイドブックシリーズの改訂出版等もなく、売上は前年同期を大きく下回りました。この結果、売上高は前年同期比11.2%減少し、91億58百万円となりました。

利益面では、事業構造改革による効率化や人員削減による人件費削減の効果もあり売上原価、販売費及び一般管理費が減少したものの、売上高の大幅な減少を補えず、営業損失は10億60百万円となりました(前年同期は営業損失22億76百万円)。また、中途解約に伴う解約違約金、持分法適用会社の除外に伴い持分変動損失、当社及び子会社が保有する固定資産について減損損失を計上いたしました。その結果、親会社株主に帰属する当期純損失は17億68百万円となりました(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失34億23百万円)。

財務諸表の詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。URL <http://www.mapple.co.jp/corporate/ir/>

連結貸借対照表のポイント

流動資産

売上高が減少したことに伴い現金及び預金が7億67百万円、受取手形及び売掛金が4億96百万円、有価証券の償還に伴い有価証券が5億円減少。商品在庫の減少により商品及び製品が3億39百万円減少し、流動資産は21億50百万円の減少の123億78百万円となりました。

固定資産

有形固定資産は償却の進行に加え、運搬具、工具器具備品において減損損失を計上したため、1億36百万円減少し、63億97百万円となりました。

無形固定資産は、データベース、ソフトウェアにおいて減損損失を計上したため、9百万円減少し、残高なしとなりました。

投資その他の資産は、退職給付に係る資産が1億52百万円増加した一方で、投資有価証券が2億6百万円減少し、65百万円減少の34億13百万円となりました。

以上から固定資産は2億11百万円減少し、98億10百万円となりました。総資産は23億62百万円減少し、221億88百万円となりました。

負債

賞与引当金が3億43百万円減少し、負債は3億79百万円減少の45億75百万円となりました。

純資産

剰余金の配当、当期純損失の計上によって、利益剰余金は17億68百万円減少し、純資産は19億83百万円減少し、176億12百万円となりました。

自己資本比率

自己資本比率は0.4ポイント減少し79.3%となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第58期	第59期
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 787	△ 646
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,185	238
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 354	△ 363
現金及び現金同等物に係る 換算差額	—	4
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 2,326	△ 767
現金及び現金同等物の 期首残高	9,949	7,899
現金及び現金同等物の 期末残高	7,899	7,132

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億46百万円の支出となりました。主な要因は税金等調整前当期純損失を17億28百万円計上したこと、賞与引当金の減少額3億43百万円があった一方で、減損損失3億44百万円、売上債権の減少額4億96百万円、たな卸資産の減少額3億26百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億38百万円の収入となりました。主な要因は有価証券償還による収入5億円、投資有価証券の償還1億円があった一方で、有形固定資産取得による支出79百万円、無形固定資産の取得による支出2億99百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億63百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払額3億63百万円によるものです。

現金及び現金同等物の残高は前期末から7億67百万円減少し、71億32百万円となりました。

会社情報 (平成30年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社昭文社 (Shobunsha Publications, Inc.)
創業	昭和35年5月
本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地
資本金	101億41百万円
従業員数	単体322人、連結447人
事業所	本社 東京都千代田区
	大阪支社 大阪市淀川区
	制作本部 東京都江東区
	仙台営業所 仙台市若林区
	横浜営業所 横浜市西区
	名古屋営業所 名古屋市千種区
	福岡営業所 福岡市中央区
	東京商品センター 東京都足立区
	大阪商品センター 大阪府摂津市
	埼玉製本センター 埼玉県加須市

役員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役社長	黒田 茂夫
取締役	大野 真哉
取締役	清水 康史
取締役	上原 嗣則
取締役 監査等委員	飯塚 新真
取締役 監査等委員	※ 関 聡介
取締役 監査等委員	※ 桑野 雄一郎

※社外取締役

関係会社

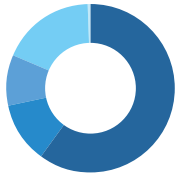
株式会社マップル・オン	東京都新宿区
株式会社昭文社クリエイティブ	千葉県市原市
株式会社トリブコン	東京都千代田区
SHOBUNSHA HAWAII CORPORATION	米国 ハワイ州
SHOBUNSHA GUAM CORPORATION	米国 グアム準州
SHOBUNSHA SINGAPORE PTE.LTD.	シンガポール共和国
株式会社マップル・スプリング	東京都千代田区

株式情報 (平成30年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	18,178,173株
株主数	20,224名

所有者別株式分布状況



所有者区分	持株比率 (%)
個人・その他・自己名義	60.2
金融機関	11.6
外国法人等	9.8
その他の法人	18.0
金融商品取引業者	0.4

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日(中間配当を行う場合)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711(通話料無料)
	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.mapple.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	9475

お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

大株主 (自己株式を除く上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
黒田 敏夫	3,574	19.66
黒田 茂夫	1,699	9.34
株式会社エムティーアイ	1,596	8.78
MSCO CUSTOMER SECURITIES	1,249	6.87
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	885	4.87
株式会社MGSHD	754	4.15
昭文社社員持株会	680	3.74
株式会社三井住友銀行	347	1.91
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	295	1.62
DFA INVESTMENT TRUST COMPANY- JAPANESE SMALL COMPANY SERIES	220	1.21

株主優待のご案内

当社では、当社の事業についてより深くご理解いただきたく、株主優待制度として、平成30年3月末日現在、100株以上ご所有の株主様に3,000円相当の当社商品を進呈しております。

今年は新ガイドブックシリーズ『COLOR+ (カラープラス) 東京』、まっぴるマガジン海外版『まっぴるのホノルル』、テーマガイド『一度は観たい日本の花風景』の計3冊をお送りいたします。

株主優待品は7月中の発送を予定しております。

株主優待品の発送についてのお問い合わせ

株主優待事務局 (平成30年9月末まで)
0120-770-383

(受付時間 9:00~17:00/土・日・祝日を除く)

定番スポットも押さえつつ、より感動や付加価値を求めて旅する女性に向けて、非日常体験や、HAPPYになれる旅スタイルを豊富に掲載した新刊『COLOR+』



表紙の写真

表紙右上の写真は、立山連峰とチューリップ(富山県)
(当社社員が撮影した写真を使用しました)